２０２２年度

ボランティア活動報告

富山短期大学　学生部　ボランティア支援センター

2023（令和５）年度 富山短期大学は 開学６０周年 を迎えます

ごあいさつ

ボランティア支援センター長　明柴　聰史

今年度もコロナに影響された１年間でした。しかし、今年度は学生たちも今の状況でできることを自ら考え、積極的に行動する姿が印象的でした。そして、今年もこうして、ボランティア活動報告集を作成することができました。

これもひとえに地域の皆様、企業、福祉法人等の皆様からのご依頼と、感染症対策等を十分に行っていただき活動ができた賜物です。多くの皆様のご協力とご支援いただきましたこと、この場をお借りして、御礼申し上げます。

さて、ボランティア活動は、学内の専門的な講義や演習などの授業では得ることができない貴重な経験と学びができる機会であり、教育と地域貢献の重要なつながりととらえています。具体的には、本学の教育目標である、知性と教養だけではなく、人間性の向上を大きな教育の柱と考えています。それらは講義などから教えられて身につくものではなく、実際に経験し、実践を通して育つものであると考えております。

近年、入学してすぐに、「短大に入ったらボランティア活動をしたいと思っていました」や「高校の時に富山短期大学のボランティア活動を新聞で見て憧れていました」というような嬉しい声を聴くことがあります。これまでの活動が地域に広がり、発信できていることを強く実感しております。

授業で学んだことを実践したり、自分の個性や強みを生かしたりすることができるボランティア活動や新たな分野や地域の課題に触れることができる活動、多世代の方と交流することで価値観を共有したり、違いに気づくことができる活動等、豊富な活動の中から学生たちは、Web ボランティア手帳のシステムを活用し参加しております。

活動に参加した学生は、ボランティア活動を通して、主体的に活動すること、さまざまな人とつながること、異なった価値観や生き方との出会い、人から感謝されたり喜んで頂いたりするうれしさや充実感など、多くの学びがあったと満足気に話してくれます。その経験を今後の専門的学びや就職後、社会人として、地域に還元してほしいと願っております。

ここに、今年度の活動内容や学生の気づき・学びの報告を記録して報告集としてまとめました。ボランティア活動により、学生は本当にかけがえのない経験と学びを得たことを報告させていただきます。今後の活動依頼等の参考としていただき、今後も引き続き富山短期大学をよろしくお願いいたします。地域と共に歩んでいくことのできるボランティア支援センターをめざします。

末筆ではございますが、ボランティア活動への参加を応援してくださった地域の皆様、企業、福祉法人等の皆様、学生の活動の場を提供してくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

2023 年 3 月

富山短期大学 ボランティア支援センター

センター長　明 柴　聰 史

目　　次

Page

1．はじめに　ボランティア支援センター長 明柴 聰史 --- 1

2．報告 1　2 年間続けたボランティア活動　経営情報学科 2 年 金山 奈央 --- 3

3．報告 2　ボランティアをして変わったこと　経営情報学科 1 年 坂井 愛奈 --- 5

4．報告 3　ボランティア活動のふりかえり　幼児教育学科 2 年 竹原 鈴乃 --- 7

5．報告 4　まず始めてみた　フィオーレフェリーチェ会 --- 9

6．報告 5　ボランティア活動の魅力について　幼児教育学科 1 年 杉本 葵 --- 11

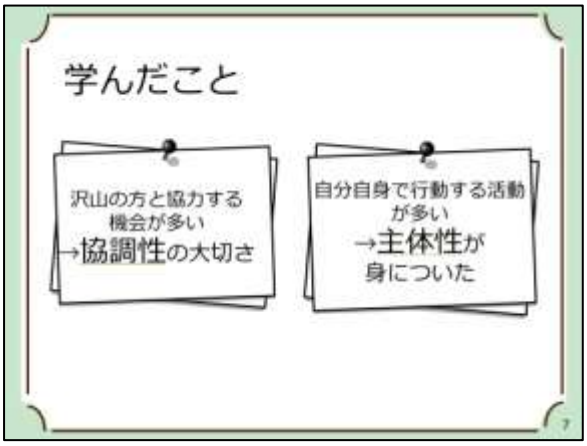
7．報告 6　ボランティアに参加しての気づき　食物栄養学科 1 年 角川 明子 --- 13

8．報告 7　【ボランティア】に 4 年間取り組んだ私が何を感じたのか
専攻科食物栄養専攻 2 年 神田 妙野 --- 15

9．2022 年度 学生のボランティア活動実績　ボランティア支援センター --- 17

10. 富山短期大学ボランティア活動等普及支援「＋One ともに」 --- 18

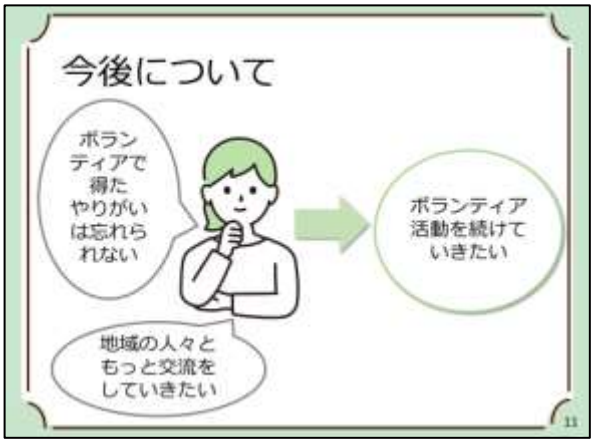
報告１　２年間続けたボランティア活動


学んだこと
沢山の方と協力する機会が多い
→協調性の大切さ
自分自身で行動する活動が多い
→主体性が身についた
7

自己評価
持続して物事に取り組む機会が少ないため継続できてよかった
2年間を通して引っ張る立場として責任を果たせた
8

Webボランティア手帳に関して
<Reportについて>
・Reportとは
活動後にボランティアの記録として振り返るもの。
・記載事項
「活動内容」「成果」「課題・反省点」「提案等」
→テンプレートがあるから安心。
<その他（ランキング）>
Webボランティア手帳にはランキング機能がある。
上位になることが一つのモチベーションにもつながる。
Reportの例
（ハッピーママ）
9

後輩へ・・・
ボランティアは周りの人のために踏み出す第一歩
一歩を踏み出すことで・・・
ボランティアを通してやりがいが持てる
10


今後について
ボランティアで得たやりがいは忘れられない
ボランティア活動を続けていきたい
地域の人々ともっと交流をしていきたい
11

最後に
＜私の高校時代＞
・部活中心
・自分の事で精一杯
・ボランティア活動はしない＝できない
＜今の私＞
・いつの間にかボランティア活動をしている
・周りの事に気配りできる
ボランティア活動に出会えてよかったと思う
12

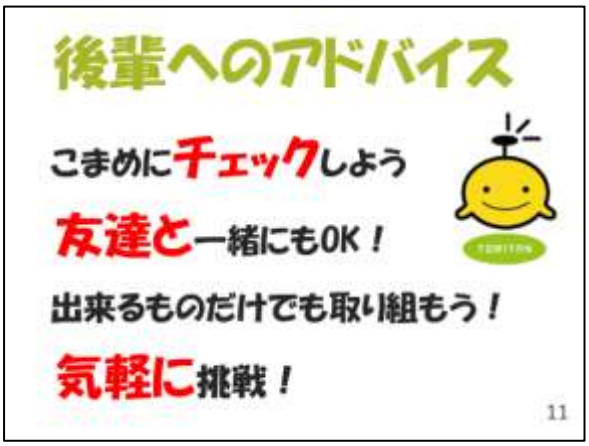
報告 2　ボランティアをして変わったこと

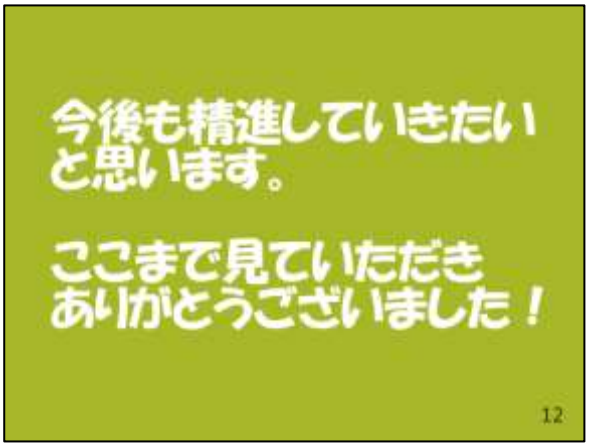
学んだこと
社会経験になった
人と関わることの大切さ
積極的な行動
7

自己評価
様々な
ボランティア
に挑戦
課題を
見つけて
取り組む
8

今後に向けて
活動を
継続する
経験を
今後に
生かす
9

Webボランティア手帳について
ボランティアに参加
実施後レポート
10


後輩へのアドバイス
こまめにチェックしよう
友達と一緒にもOK！
出来るものだけでも取り組もう！
気軽に挑戦！
11


今後も精進していきたいと思います。
ここまで見ていただきありがとうございました！
12

報告３　ボランティア活動のふりかえり

ボランティア活動のふりかえり

幼児教育学科 ２年
竹原 鈴乃

1

ボランティア活動に積極的に参加しようと思った理由

様々な人と関わり、コミュニケーション力を身に付けたかったから

学生の間にしかできない貴重な体験をしたかったから

ボランティアを通して学んだことを今後就職した際に活かしたかったから

社会に貢献したかったから

2

４月～１１月 参加したボランティア活動

1．餌絵と下条川千本桜祭りの手伝い…４月３日
2．Webボランティア手帳説明会　新入生のサポート…４月８日
3．山間部用水路の清掃作業・昼食準備作業…４月１６日
4．富山短期大学子育て支援サークルボランティア…４月２３日
5．子どもの夢の商店街実行委員会子どもサポーター…４月２４日
6．子ども子育て応援マルシェin太閤山ランド…５月８日
7．スペシャルオリンピックス日本・富山　トーチランin富山…５月２９日
8．子育て支援活動意を感じよう！縦日開催（子育て支援サークル）…７月２３日
9．出張！子育て支援活動（子育て支援サークル）…９月２２日
10．学内大学祭ボランティア…１０月１４日
11．出張！保育の出前　子育て支援　（わかくさ保育園）…１０月２２日
12．出張！保育の出前　子育て支援　（愛宕保育所）…１１月５日

3

山間部用水路の清掃作業

◆ 用水路の作業

用水の水の流れを良くするために、用水路に溜まっている木の枝や草を取り除いた。

◆ 清掃作業

用水路の周りの環境を良くするために、岸に溜まっている雑草や木の枝を掃き、綺麗にした。

小羽地区の方々とお話ししながら作業を行うことで
小羽地区の歴史や良さを知ることができました

4

スペシャルオリンピックス日本

夏季ナショナルゲーム・広島トーチランin富山

◆ トーチラン

障害がある方と一緒に会話しながら、トーチランを行った。移動を呼びかける際は言葉だけでなく、ジェスチャー等を用いて伝わりやすいよう考えて行った。

◆ 手指とトーチの消毒

障害のある方はマスクなどの感染症予防が難しいため、コロナウイルス感染拡大を防ぐために、手指消毒を呼びかけや、トーチの消毒を１人ずつ交代する度に行った。

障害のある方との交流を通してコミュニケーションを
工夫することの大切さを学ぶことができました

5

出張！保育の出前 子育て支援

◆ 音楽ブースでの楽器体験の補助

子ども達にピアノや木琴、鉄琴などの楽器に触れ合えるように積極的に話しかけ、子ども達の好きな曲を聞き、一緒に演奏することを楽しんだ。

◆ リトミックやパネルシアターの伴奏

リトミックやパネルシアターの音楽としてピアノ伴奏を行った。

自分の得意な音楽で子ども達が喜んで
くれたことを経験しとても嬉しく感じました

6

ボランティア活動を通して学んだこと

子どもから高齢者、親子連れや障害がある方など沢山の人と関わる中でそれぞれの人に合ったコミュニケーションの工夫をすることの大切さを学べた。

集団で活動するボランティアに多く参加していた為、自分から仕事や役割を見つけて率先して取り組むことの大切さを学べた。

様々なボランティアに参加する中でハプニングも多々あったが、臨機応変に対応することの大切さを学べた。

7

自 己 評 価

初めて出会う人が多くいた中で自分から積極的に話しかけ、役割を見つけて率先的に動くことができた。

継続して行っている活動では、前回の反省を次回へと活かすことができた。

ボランティアを通して自分自身
成長することができたと考える

8

Webボランティア手帳について

① 締切期限が近い順にボランティアが表示してあり、非常に見やすい。

② ボランティアについての概要も詳しく書かれており、自分の興味に合った活動なのかを確認しやすい。

③ 実施後にはレポートが必須であり、振り返ることで自分の改善点が見えてくる。

④ レポートの書くべき項目が決まっていて書きやすい。

「実践後レポート」をタッチすると
このように項目が出てきます！

9

後輩のみなさんへ

沢山のボランティアに参加できるのは学生である今の時期だけ！今のうちに。自分が気になる分野のボランティアに積極的に参加したら良いと思う。

自分が磨きたいことに関係しているボランティア（保育分野や障害者との関わりなど）を見つけて参加すると、自分への成長へと大きく繋がると思う。

ただ参加するだけでなく、自分から進んで行動することを心がけたり、何かしらの目標を持って取り組むと良いと思う。

10

今後に向けて

今後は
就職する為ボランティア活動を通し学ぶことができた

①「相手に合わせたコミュニケーションの工夫をすること」

②「自分から仕事や役割を見つけて率先して取り組むこと」

③「臨機応変に対応すること」

の３つを活かしていきたいと思う

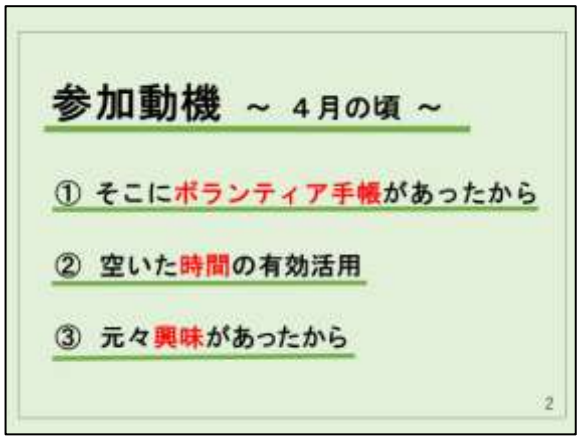
11

ボランティアに参加して沢山のことを学ぶことができました！
ボランティア活動を通して学べたことを
今後も活かしていきたいです！！

12

報告４　まず始めてみた

まず始めてみた。
健康福祉学科
フィオーレフェリーチェ会
1


参加動機 ～ ４月の頃 ～
① そこにボランティア手帳があったから
② 空いた時間の有効活用
③ 元々興味があったから
2

活動実績 ～ 2022年4月－11月 ～
3

活動内容 フィオーレフェリーチェ
苗から
種から
草むしり
水やり
種取り
4

まるごとTOYAMA 富山応援隊
活動内容
ごみ拾い
5

スペシャルオリンピックス日本・富山
活動内容
準備体操
BOWLING
レーン
サポーター
6

ボランティアから学んだこと

7

自己評価

◆ 充実した時間を過ごせた

◆ 積極的に行動できたりできなかったりした

◆ 続けられるボランティアと出逢えた

8

富山短期大学

Webボランティア手帳

・ボランティアを探すのが簡単

・ボランティア先で証明書を貰わなくてよい

・ボランティア活動履歴書が簡単に印刷できる

9

後輩へのメッセージ

・気になったらやってみよう

・自分に合うボランティアを見つけよう

・充実した学生生活を送ろう

10

今後の活動予定

フィオーレフェリーチェ

◆ 採取した種をまく

◆ 花壇のお世話

◆ 昨年の失敗を成功へ

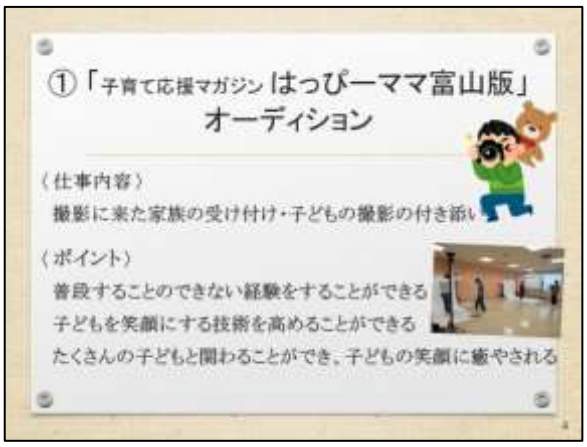
11

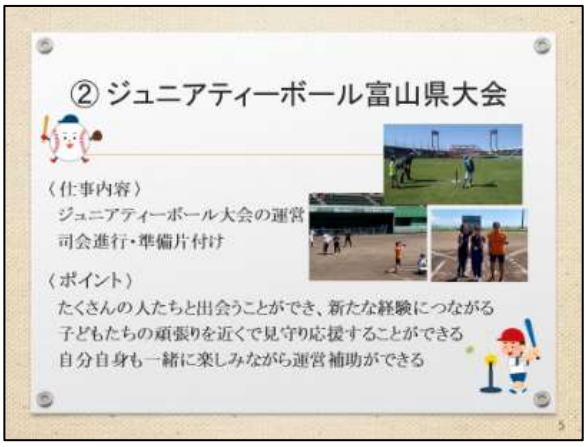
最後に

これもひとえにボランティアの機会を与えてくださった皆様のご支援・ご協力あってのことと、心より感謝申し上げます。

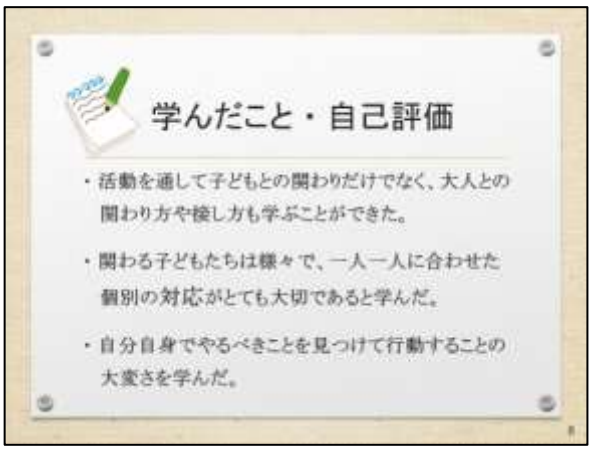
12

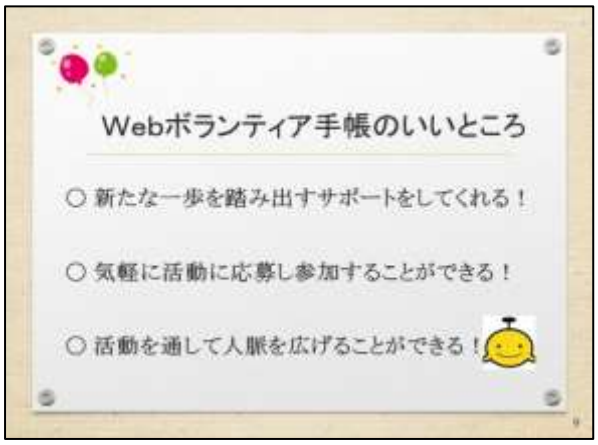
報告 5　ボランティア活動の魅力について



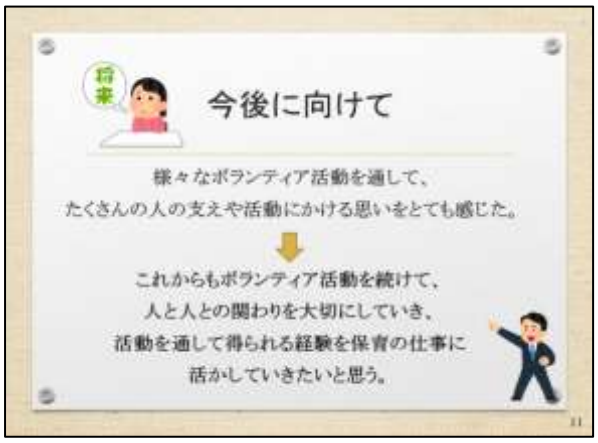


他にも
こんな写真が・・


学んだこと・自己評価
・活動を通して子どもとの関わりだけでなく、大人との関わり方や接し方も学ぶことができた。
・関わる子どもたちは様々で、一人一人に合わせた個別の対応がとても大切であると学んだ。
・自分自身でやるべきことを見つけて行動することの大変さを学んだ。


Webボランティア手帳のいいところ
○ 新たな一歩を踏み出すサポートをしてくれる！
○ 気軽に活動に応募し参加することができる！
○ 活動を通して人脈を広げることができる！

新入生に向けて
○ ボランティア活動は普段経験できないような活動がたくさんあります！
○ 初めてのことに挑戦してみるのは、不安が大きいと思いますが、ボランティアを通してたくさんの笑顔に出会えます！
○ 友達と一緒に参加もできるので楽しく活動できます！
少しでも興味のある人は是非参加してみてください！


将来
今後に向けて
様々なボランティア活動を通して、
たくさんの人の支えや活動にかける思いをとても感じた。
これからもボランティア活動を続けて、
人と人との関わりを大切にしていき、
活動を通して得られる経験を保育の仕事に
活かしていきたいと思う。

自分の興味のあるボランティアを
見つけ、一緒に活動しましょう！
最後まで読んでいただき
ありがとうございました。

報告６　ボランティアに参加しての気づき

ボランティアに参加しての気づき

食物栄養学科
角川明子

1

活動の動機と背景

毎日目にしている光景の中で
気になった事に対して
「こうしてみたい」
という気持ちが生まれ
「ボランティア手帳で活動を
探し参加しよう！」
という気持ちになりました

2

活動実績

① キャンパス・グリーン・ボランティア

② 学内 ポプラプロジェクト

③ 学外 にながわ光風苑「まんてん祭」
催し補助・付き添い

3

活動内容①

キャンパス・グリーン・ボランティア

体育館横の小さな花壇に、季節の花で通る人の癒しになったり、成長を楽しんだり心にホッとする一瞬をという気持ちで、手入れを手伝いました。

朝・晩の花の水やり、草むしりや新しい花の苗の植え付けなど、観察するのが好きな人には、向いていると思います。

4

活動内容②

学内 ポプラプロジェクト

各校舎の女子トイレに生理用品を補充していきました。

「生理の貧困」という経済的に購入できない、また、そのことを周りに相談しにくい、そんな悩みや不安を抱えた女性へのサポートの一環として、陰ながら支えていく考えを行動に移すことができる活動でした。

ポプラプロジェクト・・・富山県女性財団の「コロナ禍における女性のつながりサポート」事業

5

活動内容③

**学外 にながわ光風苑「まんてん祭」
催し補助・付き添い**

老人福祉施設へ夏祭りの手伝いに参加しました。デイサービスの方もおられにぎやかでした。

ゲームも床に置いた的にボールを入れるダーツゲームなどの補助や、移動する利用者さんの付き添いでした。

6

学んだこと

- 好きな事が同じ人が集まると、**いろんな学科の人や先輩、先生と出会う**ことが出来るという事。
- 他の**人からの知識を得る**ことが出来、次回に生かせる事。
- 特に学外での活動は、自分が学校の名前を背負っているという事を感じ、参加したからには、**精一杯役目を果たそう**という気持ちを持つ事。
- 人との出会いは、一期一会。それと同じく参加して行動する作業もその時しかなく、**悔いのないように精一杯心を込める**という事。

以上の事を参加した事によって学びました

7

自己評価

- 知らなかった世界を**参加することによって知ることが出来た**事。
- ただ参加すればいいという気持ちがどこかにありただ時間が過ぎればいいという気持ちがあった事。
- 好きな事に夢中になりすぎて、時間間隔が無くなってしまった事。
- 一度だけ参加して満足してしまい、次に繋げられなかった事。

以上のように良い事と反省点が見えて
自分に足りないものを知ることが出来ました

8

Webボランティア手帳について

ボランティア手帳に募集しているものが出ているので、**気になった時に気軽に調べる**ことが出来ます。

学内、学外関係なく閲覧できるので大変便利です。

参加した後に、過去に参加したボランティア活動の履歴も確認できるので、参加した事のないもの、振り返った時に思い出してまた参加したいという気持ちにもなるので、**ボランティア手帳は必須アイテム**です。

9

後輩へのアドバイス

高校生の時にいろいろ参加した事があると思いますが、大学生になって参加すると高校時代の時と見えてくるもの、感じるもの、責任というものの感じ方が変わってくると思います。それらを感じる事ができるいい機会だと思います。

ボランティアに参加することで、新しく仲間ができたり、いろんな職業の人と出会ったり、**自分にとって新しい体験ができる貴重な機会**だと思います。

10

今後に向けて

課題や、実習など大変なことが多いですが、花壇のように毎日のように目にする場所を、色鮮やかに花で埋め尽くし成長を楽しんだりできるように参加し続けたいです。

また、楽しんで活動している姿を見て、「面白そう」と思ってもらえたり、「花に興味がちょっとあるけど」というような人たちにも気軽に声をかけてもらえるような、そんな雰囲気を作っていければと思います。

11

最後に

何事にも初めてはあります。同じ感覚を持っている人たちが集まってくるのがボランティアです。一人での参加は心細いかもしれませんが、きっと**自分の心の成長を促してくれます。**

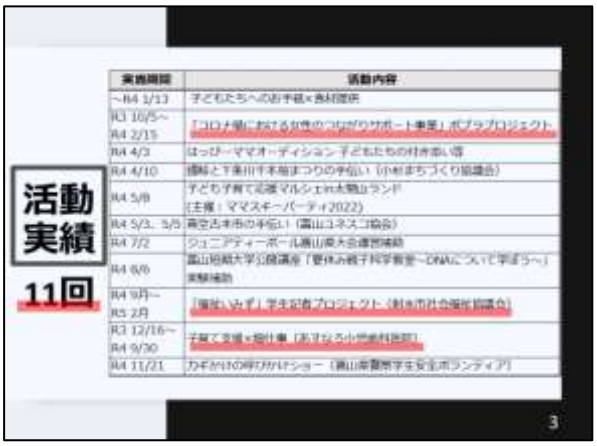
自分が楽しく活動をしていれば、見ている人たちにも伝わって参加してくれるかもしれません。

参加することに意味があります。

ぜひ、いろんな体験をしてください。

12

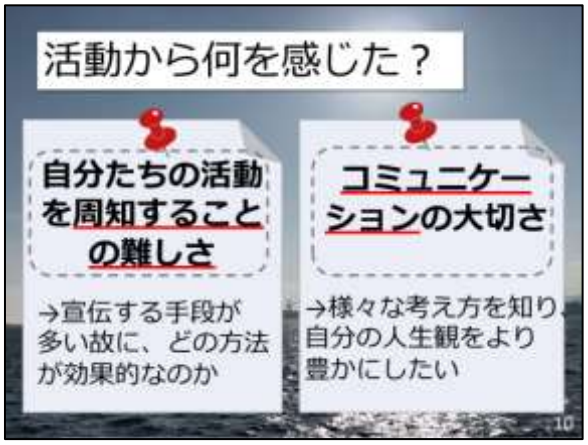
報告７　４年間も取り組んだ学生は何を感じたのか

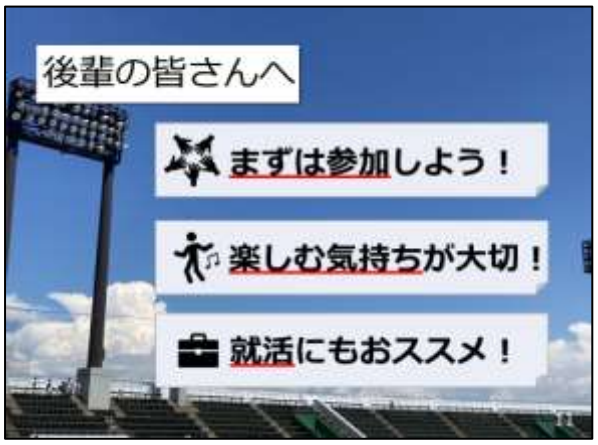


【Fattoriaプロジェクト】(R3年 10月～R4 2月)
～子育て支援×畑仕事(あすなろ小児歯科医院)～
☑ 親子で苗植え体験や地引網体験を通して、"食の大切さ"を知る活動の補助を行った
子どもへの食育の大切さを学ぶ良い機会となった
8

学生と広報紙作成
企業の社会貢献を取材
学生記者プロジェクトの活動は、福祉新聞で掲載していただきました！
7

活動を振り返って…
#４年の集大成
#長期活動への参加
#新たな交流
9


活動から何を感じた？
自分たちの活動を周知することの難しさ
→宣伝する手段が多い故に、どの方法が効果的なのか
コミュニケーションの大切さ
→様々な考え方を知り、自分の人生観をより豊かにしたい
10

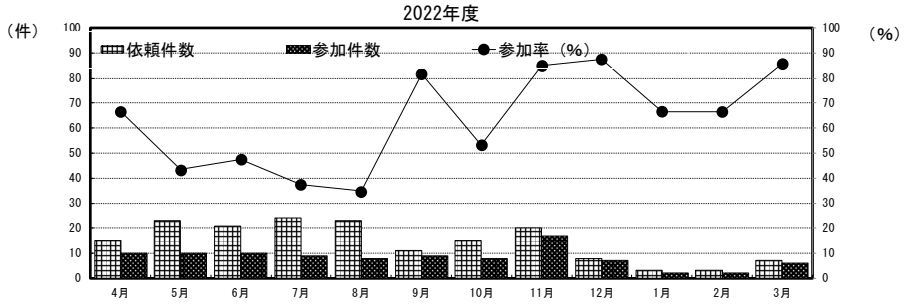

後輩の皆さんへ
まずは参加しよう！
楽しむ気持ちが大切！
就活にもおススメ！

２年間のわずかな学生生活、
あなたはどのように過ごしますか？
12

２０２２年度　学生のボランティア活動実績

１、2022年度月別依頼件数・参加件数

月 / 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	参加件数（%）/ 依頼件数
依頼件数	15	23	21	24	23	11	15	20	8	3	3	7	173	
中止・自粛	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	6	56.6
参加件数	10	10	10	9	8	9	8	17	7	2	2	6	98	
参加率（%）	66.7	43.5	47.6	37.5	34.8	81.8	53.3	85.0	87.5	66.7	66.7	85.7		



２、学科別学生参加率

2022年4月～2023年3月

学科・学年		※全学生数（名）	参加人数（名）	※参加率（%）	学科平均（%）	延人数（名）	学生1人あたり参加回数（回）
食物栄養	1年	83	56	67.5	50.4	83	1.5
	2年	87	29	33.3		32	1.1
専攻科 食物栄養専攻	1年	12	1	8.3	7.5	1	1.0
	2年	15	1	6.7		9	9.0
幼児教育	1年	84	81	96.4	81.8	196	2.4
	2年	79	53	67.1		195	3.7
経営情報	1年	116	61	52.6	35.4	122	2.0
	2年	104	19	18.3		37	1.9
健康福祉	1年	30	30	100.0	96.0	46	1.5
	2年	25	23	92.0		45	2.0
全学生数、平均参加率		635	354	55.7	－	766	2.2

学年	参加率（%）	学生1人あたり参加回数（回）
1年	70.2	2.0
2年	40.3	2.5

※参加率は、一人が何回参加しても複数回数には数えていません。
※全学年数から休退学者数を除いています。

富山短期大学ボランティア活動等普及支援「＋One ともに」

富山短期大学ボランティア支援センター　ボランティア活動等普及支援

富山短期大学ボランティア活動等普及支援「＋One ともに」皆さんの活動を助成します！

募集期間

令和４年５月１３日（金）から２月３日（金）までの間に
実施される活動　※**12 月末を締め切りに**予算がなくなり次第終了

対　　象

富山短期大学 学生　ボランティアグループ・団体 又は 個人

対象とする活動

学生によるグループのボランティア活動・地域活動、学生の模範となる活動、各学科の特色を生かした GP 活動（「Good Practice」の略；学生教育の質の向上を目指す個性・特色のある優れた取り組み）、学科を超えて学校全体で取り組む活動。

＜具体的な活動例：学内清掃、地域のごみ拾い、県外への災害支援など＞

助成内容

１団体への助成金の限度額は 30,000 円
活動に使う備品、消耗品、交通費など（但し飲食代は除く）
※詳しくは要項を確認してください。

申請方法

Web ボランティア手帳（http://vc.toyama-c.ac.jp/）のボランティア支援センターのコミュニティからダウンロード又は、学生ホールボランティア掲示板に設置してある「助成金交付申請書」を記入し、各学科ボランティアサポーター教員を経て、学生支援課窓口へ提出してください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

富山短期大学　学生部　ボランティア支援センター
（学生支援課内）
TEL：076-436-5457（直通）
FAX：076-436-0133
E-Mail：volunteer@toyama-c.ac.jp

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

2023 年 3 月発行

富山短期大学 学生部 ボランティア支援センター

〒930-0193　富山市願海寺水口 444

TEL 076-436-5146（代表）

TEL 076-436-5457（直通）

MAIL tymc_volunteer@tii.ac.jp